

Technical Service Data Sheet

酸性脱脂脱錆剤

エスクリーン W - 2550

S - CLEAN W - 2550

エスクリーンW - 2550は酸性タイプの脱脂脱錆剤です。

<特長>

一液で脱脂と脱錆を同時に短時間で行う事ができます。
揮発性の酸を含まないので、酸性ガスの発生がありません。

<性状>

無色または淡黄色酸性液体

<使用方法>

エスクリーンW - 2550 1容
水 9容

液温 75 ~ 85

<処理条件>

	建浴時基準濃度	処理中の条件範囲
希釈濃度 (vol%)	10	5 ~ 15
全酸度 (ポイント)	20	10 ~ 30
処理温度 ()	80	75 ~ 85
処理時間 (分)	5	2 ~ 10

<処理液の試験方法>

・全酸度の測定方法

処理液1MLをピペットで200ML三角フラスコに取り、純水を50~60ML入れ、これに指示薬(フェノールフタレイン溶液)を数滴加え、1/10mol/ の水酸化ナトリウムで中和滴定し、液色がピンク色に変わる点を終点とし、この時要した滴定液のML数をポイント数として全酸度を表す。

・鉄イオンの測定方法

処理液1MLをピペットで200ML三角フラスコに取り、純水を50~60ML入れ、これに50%硫酸を数滴加えたのち、1/10mol/ の過マンガン酸カリウムで酸化滴定し、液の色淡紅色を呈した時を終点とし、この時要した滴定液のML数をポイント数として鉄イオンの含有度を表す。



佐々木化学薬品株式会社

京都市山科区勸修寺西北出町 10
TEL (075)581-9141 FAX (075)593-9784
支店：滋賀 営業所：鹿児島・東大阪

Technical Service Data Sheet

< 処理液の調整方法 >

・ 全酸度の調整方法

エスクリンW - 2550の全酸度は通常15～25ポイントに維持して処理しますが、油および錆の発生状態によって加減してください。
尚ポイントが低下した場合は下記式によってエスクリンW - 2550を補給して下さい。

$$\text{補給量(L)} = 5.5 \times \text{上昇すべきポイント数} \times \text{処理液総量(t)}$$

エスクリンW - 2550で処理する場合、主として脱錆を目的とするとき、鉄分が塩として溶解し、全酸度が消費され上記の方法で補給を繰り返して行っても鉄イオンが一定の濃度以上になると、全酸度が規定量であっても効果が低下し処理時間が長くなります。
(全酸度と鉄イオン濃度の比が4:1)その場合は、処理液を更新する方が得策です。

< 廃液処理 >

産業廃棄物業者に委託するか、廃液を10倍以上に希釈し、水酸化カルシウムで中和処理を行い、上澄み液はpH5.8～8.6に調整しBOD、CODを考慮して放流して下さい。
スラッジは産業廃棄物業者に委託して下さい。

< 取扱い上の注意 >

- ・ 取扱い時は排気装置を使用して下さい。
- ・ 使用液は酸性ですので、ご使用時には保護眼鏡、保護手袋、防塵マスク等の適切な保具を着用し、眼・皮膚への接触および蒸気を吸入しない様にして下さい。
- ・ 眼に入った場合は、直ちに清浄な流水で瞼を指で開きながら15分以上洗眼し、必ず医師による処置を受けて下さい。
- ・ 皮膚等に付着した場合は、直ちに衣類を脱がせ、付着部を多量の水で十分に洗い流し、医師による処置を受けて下さい。
- ・ 蒸気を吸入した場合は、速やかに医師の処置を受けて下さい。状況により酸素吸入・人工呼吸が必要となります。
- ・ 飲み込んだ場合は水で口の中を洗わせただけで牛乳を飲ませて、速やかに医師の処置を受けて下さい。
- ・ 保管時には必ず密栓をして直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管して下さい。
- ・ **本品は「医薬用外劇物」に指定されています。(硫酸 15～20%含有)**

< 荷 姿 >

エスクリンW - 2550

20kg

ポリ容器



佐々木化学薬品株式会社

京都市山科区勸修寺西北出町 10
TEL (075)581-9141 FAX (075)593-9784
支店：滋賀 営業所：鹿児島・東大阪